

## お知らせ

-アルツハイマー病の新しい治療薬（レカネマブ；レケンビ®）発売にあたって-

すでに報道されていますように、全く新しいタイプのアルツハイマー病治療薬であるレケンビ®の製造販売が承認され、12月20日に発売されました。

当院においても、この薬を安全・適正に使用できるよう、専用の治療室（第6診療棟先端治療室）や必要な検査体制などの準備を進め、**2月13日より**投与を開始する運びとなりました。ここでは、本剤による治療対象となる方が、はじめて当院を受診されてから実際の薬剤投与までの流れを説明させていただきます。

### ① 受診

**もの忘れセンターの初診外来**を予約・受診していただきます（紹介状・情報提供書を持参していただくことをお勧めします）。

既に当院で**他の診療科に通院中の方は、担当医に確認の後、もの忘れセンター外来への紹介をご依頼**下さいませようお願いいたします。もちろん担当医から、もの忘れセンター外来への受診を勧められる場合もあります。

まず通常の初診外来の診療を受けて頂きます。レケンビ®の投与対象は**アルツハイマー病による軽度認知障害または軽度の認知症に限定**されており、初診時の診察およびその後の検査（通常、神経心理学的検査、脳MRI、脳血流シンチグラフィー等を1日あるいは数日に分けて実施します）の結果、対象外と判定されることがありますが、その場合は通常の診療を提供させていただくか、紹介先の診療機関で診療を継続していただきます（もの忘れの原因がアルツハイマー病ではない場合、原因がアルツハイマー病であっても認知症の程度が中等度以上の場合、脳MRIにおいて治療による副作用のリスクが高い特有の所見を認めた場合、などは対象外と判定されます）。

レケンビ®による治療の対象と判断された場合、検査結果の説明の後、「アミロイドβの蓄積を調べる検査」を予約し、実施します。

### ② アミロイドβの蓄積を調べる検査

レケンビ®の投与対象は臨床診断に加えて、検査結果においても厳格に規定されています。特に重要なのが脳への**アミロイドβの蓄積**が認められることです。アミロイドβの蓄積を証明する検査としては、**アミロイドPET**という核医学検査と、**髄液検査**がありますが、当院では侵襲の低い**アミロイドPETを優先してお勧めする**こととしております。

・ **検査結果の説明**

初診時の診察とその後の全ての精密検査の結果を総合的に検討し、レケンビ®の投与の**対象に該当するか否かを説明**させていただきます。

レケンビ®の治療適用がないと判定された場合には、どのような予防策・治療法を講じることができるかを説明させていただきます。

・ **投与**

治療適用があると判定され、投与を希望された方への投与は、**初回のみ1泊入院**して頂き、**点滴注射**を行います（副反応の発現を注意深く観察するためです）。**2回目以後**は専用に整備された**第6診療棟先端治療室（旧西病棟）**で、**2週毎**に点滴注射を行います。なお、投与開始後は**脳の腫れや出血などの副反応が生じる可能性**があるため、**定期的な脳MRI検査**が必要です。

⑤ **費用負担**

レケンビ®の投与による費用負担の概算は下表の通りです。

体重	1回あたりの 使用薬剤	1か月（2回分）の患者負担額※1	高額療養費上限額※2
50kg	500mg×1瓶	1割：22,888円 2割：45,777円 3割：68,665円	1割：18,000円 2割：18,000円 3割：適用無し
60kg	200mg×3瓶	1割：27,466円 2割：54,932円 3割：82,988円	1割：18,000円 2割：18,000円 3割：80,176円

※1 上記概算は薬剤のみ（診察や検査等を除く）の費用で患者負担額を示したものです。

※2 対象者の診療行為や所得によって負担上限額が変わりますのでご注意ください。

以上が大まかな流れとなります。お問い合わせはもの忘れセンターまでお願いいたします。

病院長